

JIS

車椅子試験用ダミーの仕様

JIS T 9291 : 2022

令和 4 年 3 月 22 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 高齢者・障害者支援専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	藤 本 浩 志	早稲田大学
(委員)	荒 木 薫	特定非営利活動法人日本障害者協議会
	伊 藤 納 奈	国立研究開発法人産業技術総合研究所
	井 上 剛 伸	国立障害者リハビリテーションセンター研究所
	長 田 信 一	公益財団法人テクノエイド協会
	鹿 野 歩 子	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	河 村 真紀子	主婦連合会
	北 風 晴 司	一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会
	齋 藤 直 人	日本生活協同組合連合会
	須 名 隆 志	公益社団法人日本介護福祉士会
	園 山 洋 一	公益社団法人日本包装技術協会
	高 橋 美和子	一般社団法人人間生活工学研究センター
	二 瓶 美 里	東京大学
	根 村 玲 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサル タント・相談員協会
	星 川 安 之	公益財団法人共用品推進機構
	森 田 朝 子	一般財団法人在宅ケアもの・こと・思い研究所
	山 口 玲 子	一般財団法人日本消費者協会
	山 本 澄 子	国際医療福祉大学
	渡 邊 慎 一	横浜市総合リハビリテーションセンター

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 4.3.22

官 報 掲 載 日：令和 4.3.22

原案作成協力者：一般社団法人日本福祉用具・生活支援用具協会

(〒105-0002 東京都港区愛宕 1-6-7 愛宕山弁護士ビル TEL 03-3437-2623)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

審議専門委員会：高齢者・障害者支援専門委員会 (委員長 藤本 浩志)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail: jisc@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 記号及び略語	3
5 試験装置	3
5.1 重心計測用椅子	3
5.2 傾斜計又は測鉛線	5
5.3 質量計	5
5.4 試験床面	5
6 材料	6
6.1 全般	6
6.2 剛性スペーサー	6
6.3 フォームクッション	6
7 仕様	6
7.1 全般	6
7.2 回転部の位置	7
7.3 負荷パッド	8
7.4 全体重心の位置調節	11
7.5 セグメントの質量	11
7.6 重心の位置	12
7.7 試験用ダミーの構造の例	13
附属書 A (規定) 全体重心の位置測定	15
附属書 B (参考) 全体重心の呼び位置	21
附属書 C (参考) セグメントの呼び質量及び重心の推奨位置	22
附属書 D (参考) 試験用ダミーの構造例	24
附属書 JA (参考) 呼び 100 kg 試験用ダミーの例	27
附属書 JB (参考) JIS と対応国際規格との対比表	30
解 説	32

まえがき

この規格は、産業標準化法に基づき、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

車椅子試験用ダミーの仕様

Wheelchairs—Specifications of test dummies

序文

この規格は、2012年に第2版として発行されたISO 7176-11を基とし、我が国の商習慣等の実情に合わせるため、技術的内容を変更して作成した日本産業規格である。

なお、この規格で、**附属書 JA** は、対応国際規格にはない事項である。また、側線又は点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JB** に示す。

1 適用範囲

この規格は、車椅子の評価に使用する質量 25 kg 以上の試験用ダミーの要求事項について規定する。この規格は、試験用ダミーの全体重心の位置、試験用ダミーを構成する各セグメントの質量、及びセグメント同士を接続する回転部の位置を特定する計算式についても規定する。各セグメントを支持する負荷パッドの特性についても規定する。

ダミー重心の指定位置は、この試験用ダミーに対応する体重の人間が車椅子に座ったときの重心位置とほぼ等しい。この規格では、四肢萎縮の人又は四肢が切断された人の質量分布は対象外とする。この規格の目的は、手動車椅子、及びハンドル形電動車椅子を含む電動車椅子のための、安定性、性能及び耐久性試験において、比較可能な結果が得られるような試験用ダミーの作製を可能にすることである。

この規格では、質量 300 kg 以下の試験用ダミーの例について、25 kg 刻みで計算式から求めた質量及び重心の位置をまとめた表も、参考として記載する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 7176-11:2012, Wheelchairs—Part 11: Test dummies (MOD)

なお、対応の程度を表す記号“MOD”は、ISO/IEC Guide 21-1に基づき、“修正している”ことを示す。

2 引用規格

次に掲げる引用規格は、この規格に引用されることによって、その一部又は全部がこの規格の要求事項を構成している。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS T 9201 手動車椅子

JIS T 9203 電動車椅子

ISO 7176-26, Wheelchairs—Part 26: Vocabulary